

心に訴えるレアもの求めて

手に入れた時の高揚感

いま
■報道部発
ルポ

日曜だけせっけん販売 手作り、完成に1週間

■独自製法の新せっけん

観光客にぎわう元町・南京町広場を南に下り、雑貨店や飲食店が居並ぶ一角が次の目的地だ。

手作りせっけんの専門店「Sunday Savon(サンデー・サボン)」

(中央区栄町通)。営業は日曜正午からの6時間のみ。開店は5年前にさかのぼる。営業日を日数換算すると1年にも満たない。

「本当はもっと営業したいですよ」。店主の田中光城さん(50)は苦笑する。

田中さんは「P&Gジャパン」(同区)の化粧開発

発部門で20年ほど勤めた経歴を持つ。「自分で商品を作って販売する、まわりのパルファンみたいなことがしたい」と一念発起。紀元前から人間が親しむせっけんに着目し、今までにない商品開発に挑戦した。

約1年間の試行錯誤の末、たどり着いたのが「水入りせっけん」だ。乾燥させて作る一般的な製法と異なり、袋に詰めた状態で熟成させるのがポイント。素材を釜で炊いて化学反応させる大量生産の場合よりも、保湿成分を閉じ込めやすい。

しかし、高熱を加えずに

化学反応を起こさせるため、完成させるには約1週間が必要。型崩れを防ぐため、せっけん一つずつ手作業でくるむ手間暇が、日曜だけ営業の理由だった。

「しっとりとした洗い上がりを実感できて肌も体にも使えます。フレッシュな香りも売りますね」と田中さん。香りは6種類でアラッドオレンジやローズ、ピーチなど。鼻を近づければ、本物の果実や花のようなみずみずしさに癒やされる。せっけんを甘く見ていたよう

だ。口コミで評判が広まり、常連客や贈答用に購入する人も少なくない。田中さんは「上質なせっけんを広めたいので店を手伝える方、募集中です」と熱く呼び掛けている。水入りせっけんは1個450円から。ギフトセットもある。同店 ☎078・7771・2511 (日曜のみ)